

<英文法超基礎プリント④②> Lv.★★☆☆☆ 対象: 中2-3~

1 SVOC

We called him John. 「私たちは彼をジョンと呼んだ」

SVだけで完結できる(1.), Cを必要としSVCをとるVを(2.)
SVOをとるVを(3.), SVOOをとるVを(4.)といいます。(③~④)

今回はOとCを必要とするVである(5.)が主役です! SVOCの
場合、(6.)という関係になり、このような補語を(7.)という。

2 SVOCを作る動詞①

(8.): 「9.

」 They call her Mary.^③
「彼らは彼女をメアリーと呼ぶ」

(10.): 「11.

」 I named the dog Ren.^④
「私はその犬をレンと名づけた」

(12.): 「13.

」 They made him angry.^⑤
「彼らは彼を怒らせた」

(14.): 「15.

」 Keep the room warm.^⑥
「部屋を暖かくしておいて」

(16.): 「17.

」 I left the door open.^⑦
「私はドアを開けたままにしておいた」

(18.): 「19.

」 I found the movie interesting.
「私はその映画が面白いと感じた」

[3] SVOCを作る動詞②

[1] 使役構文^{しえき}

「Sが人に何かをさせる」という構文で、主に (20.)・(21.)・(22.)
という動詞を使う。

I made him go to the station. 「私は彼を駅へ行かせた」

I had him carry my bag. 「私は彼にカバンを運んでもらった」

I let him sing a song. 「私は彼に歌を歌わせてあげた」

☆使役構文の基本形

(23.):	「24. 」
(25.):	「26. 」
(27.):	「28. 」

[2] 知覚構文

知覚動詞とは、「何か入ってきた情報に、気づく」というニュアンスの動詞。
主に (29.)・(30.)・(31.)などの動詞を使う。

I saw him enter the room. 「私は彼が部屋に入るのを見た」

I heard him sing a song. 「私は彼が歌を歌っているのを聞いた」

I felt him touch my hand. 「私は彼が手にふれるのを感じた」

☆知覚構文の基本形

see	}	O	{	(32.)	}	「33. 」
hear						「34. 」
feel						「35. 」

[4] SVOCの訳し方テク

The news made me sad. 「そのニュースは私を悲しませた」

上の文の「The news」のような人が主語じゃない [= 36.] とき
「37. 」と訳すと自然な訳になる！

The news made me sad. 「そのニュースによって私は悲しんだ」
原因 → 結果 となる！